



# 日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第13号 2012.4.

## 4月1日より名称が変わりました！

『日高山脈館』は『日高山脈博物館』へ！

日高山脈館は、名前を聞いただけで、どのような施設かわかりやすくするため、「日高山脈博物館」という名称に変わりました。山脈館は、平成16年10月に博物館法による登録博物館（北博登第52号）になったのですが、これからはさらに、博物館としての活動を活発にしたいと考えています。ネイチャーセミナーや、GWのイベント、石ころ鑑定会なども、例年より内容を充実させて開催しますので、ぜひ参加してください。日高山脈博物館をよろしくお祈いします！



今のところ、大きな外観の変更はありません

## 日高のいきもの アオジ

本州まで旅する、黄色いわり鳥

アオジは越冬するために、中部以西まで旅をする渡り鳥です。スズメほどの大きさで、褐色の羽毛に黄色いお腹が特徴です。夏季には北海道で繁殖しているので、北海道では比較的よく観察できます。この日高山脈博物館だよりが読まれている4月下旬ごろには、もう日高へやってきているかもしれません。10月ごろまでは日高でよく見られますので、ぜひ観察してみてください。最近、北海道で越冬する個体も見られるようですので、一年中観察できるかもしれませんね。



迷い込んできたアオジです。

## 雪の上での森林散策を開催しました。

スノーシューで雪の森の自然観察

3月3日に、「雪の上での森林散策～スノーシューで冬の自然を楽しもう～」を、日高北部森林管理署との共催で行ないました。

冬の森林は、スノーシューを履くことで自然観察が可能になります。自然写真家の石黒氏を講師として招き、スノーシューの履き方や歩き方から、冬の自然観察の方法を学びながら、冬の森林を歩きました。クマゲラの採餌痕やエゾリスの足跡、冬芽などが観察でき、また、写真のとり方も学び、冬の森林の自然観察を体験できました。

観察後は、講師の撮影した写真とともに、講話会を行ない、今回得た知識をまとめることもできました。

